

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	祖濱 邦章 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	実用英語Ⅱ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	TOEIC STEP BY STEP PREP FOR TOEIC L&R TEST Step 3 Advanced Course				
参考書	-				

教 育 の 内 容				
授業概要	TOEIC450の取得を目指し、本番形式の教材を使用しながら、総合的に英語を学ぶ。			
実務経験	-			
授業の進め方	TOEIC形式の問題演習、文構造、文法事項の解説、理解の確認のための小テストを実施する。			
到達目標	TOEIC Listening & Readingに必要な英語の知識を身につけると。 英会話でよく使われる表現を身に付け、スピーキング力の向上を目指す。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	-	20%	100%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	いろいろな英文法	15		
2	TOEIC Part1 写真描写問題	15		
3	TOEIC Part2 応答問題	15		
4	TOEIC Part3 会話問題	15		

学科	航空工学科	学年	4年
科目	実用英語Ⅱ	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
いろいろな英文法	a be動詞 b 前置詞 c 準動詞 d 関係代名詞 e 時制	4月～6月	15	
PTOE1C 写真問題	a 行為や動作を表す動詞 b 位置や方向を表す動詞	4月～6月	15	
PTOE2C 応答問題	a WH疑問文 b Yes/No疑問文 c 否定疑問文 d 付加疑問文 e 選択疑問文	7月～12月	15	
PTOE3C 会話問題	a 概要を把握する b 詳細情報を聞き取る c 次に起こることに注目する	1月～3月	15	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	川浦 靖章 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	CAD & CAE IV	授業 方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	90
教科書	入門NCプログラミング				
参考書	—				

教 育 の 内 容

授業概要	流線形設計と構造解析のシミュレーションを行いながら、今まで学んで来たCATIAのワークベンチをフルに活かして自身でオリジナルのモノを設計する。また、NC機械加工におけるNCプログラムを理解し、工作機械のシミュレーションソフト「VERICUT」の操作を通して、自身が設計したものが実際に加工できるかをシミュレーションを通して確認することを学ぶ。			
実務経験	企業における機械加工およびNCプログラム実務経験を活かしてCADの授業を行っている。			
授業の進め方	各ワークベンチの基本操作をレクチャー後、課題を実施。VERICUTシミュレーションの操作実習。			
到達目標	1. 今までCATIAで学んだことをフルに活かせる 2. 設計→解析の一連の工程ができる 3. NCプログラムが理解でき、VERICUTシミュレーションが実行できる			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%

授 業 計 画

(1単位時間=50分)

No.	教 育 項 目	時 間	備 考
1	NC機械加工	30	
2	VERICUTシミュレーション	27	
3	ワイヤーフレーム & サーフェース	9	
4	構造解析	9	
5	オリジナル設計	15	

学科	航空工学科	学年	4年
科目	CAD & CAE IV	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
NC機械加工	<ul style="list-style-type: none"> a NC工作機械の概要 b 機械加工の基礎知識 c NCプログラムの基礎 d 移動指令 e 輪郭加工 f メインプログラムとサブプログラム g 固定サイクル h 工具長補正とATC 	4月～6月	30	
VERICUTシミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> a ベリカットシミュレーションの概要 b ベリカットシミュレーションのモニター方法 c エラーの検出と確認 d Xキャリパーによる測定機能 e オートディフによる切削モデルと設計モデルの比較 f 治具、材料、設計モデルの読み込み g ローカル座標系の作成 h モデルの移動と位置決め i NCプログラムの追加とワークオフセットの定義 	7月～9月	27	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	高村 聡 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	コンピュータ演習Ⅳ	授業 方法	講義・ <u>演習</u> ・実習	教育時間	60
教科書	オリジナル教材(ワークシート)使用				
参考書	佐藤和人:できるホームページHTML&CSS入門, (株)インプレス, (2017.02) 日花弘子:できるビジネスパーソンのためのExcel統計解析入門, SBクリエイティブ(株), (2016.06)				

教育の内容				
授業概要	1. 現在の情報社会で利用されるインターネットで環境で、Webページが閲覧できるしくみを理解し、HTMLを用いて、簡単なWebページを作成する。また、JavaScriptを用いた動的なWebページについて学習する。 2. グラフ作成によるデータ分析、及び統計解析を用いたデータ分析の手法 について、Excelを用いて、例題を解きながら理解する。			
実務経験	—			
授業の進め方	パソコンを利用し、演習を主体とするが、各単元の最後に理論的なまとめを行う。			
到達目標	1. Webページの閲覧のしくみを理解し、簡単なWebページを作成することができる 2. 集められたデータについて、そのデータに対応させた簡単なデータ分析ができる			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%	30%	20%	100%

授業計画			
(1単位時間=50分)			
No.	教育項目	時間	備考
1	HTMLを利用した簡単なWebページの作成	25	
2	JavaScript の利用	5	
3	ビジネスに利用されるdata分析の手法	5	
4	統計解析を利用したデータ分析	25	

学科	航空工学科	学年	4年
科目	コンピュータ演習Ⅳ	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
Webページを利用した作成	<ul style="list-style-type: none"> a Webページとその周辺 b ハイパーテキストの基本形 c 画像の挿入 d スタイルシートの記述 e CSSファイル f 配色の指定 g ハイパーリンク h 表の作成 	4月～9月	25時間	
JavaScriptの利用	<ul style="list-style-type: none"> a JavaScriptとは b 動的なWebページの作成例 	9月	5時間	
グラフ作成によるデータ分析	<ul style="list-style-type: none"> a ABC分析 b PPM分析 c Zチャート d ファンチャート e 近似曲線と予測 	10月	5時間	
統計解析を利用したデータ分析	<ul style="list-style-type: none"> a データの全体像、分布の視覚化 － 度数分布表・ヒストグラム、箱ひげ図の作成 － b データの特徴の数値化 － 平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差など－ c 正規分布 － 正規分布の形、分布割合、偏差値－ d 2組のデータの関係 － 相関係数の計算、関係性の大小、散布図の作成－ e データの因果関係の分析 － 回帰分析、重回帰分析、説明変数の選択－ g 新しい視点で、データを観察する － 主成分分析、因子負荷量、主成分得点－ 	10月～2月	25時間	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/4ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	保坂 将徳 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	ドローン応用技術Ⅱ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	日本航空教育協会 Drone Pilot Text Book Private Pilot				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	UAVに関する一般的な知識を身に着ける			
実務経験	—			
授業の進め方	映像教材を活用した講義やパワーポイントによるプレゼンテーション課題などを実施する			
到達目標	日本航空教育協会が発行する無人航空機操縦技能証明を取得する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	UAV概論	8		
2	法律とルール	16		
3	航空気象	10		
4	安全運航管理	6		
5	構造	10		
6	飛行許可申請	10		

学科	航空工学科	学年	1年
科目	マルチコプター実習 I	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
UAV 概論	<ul style="list-style-type: none"> a 無人航空機とは b 歴史 c ドローンの種類と特徴 d ドローンのプロペラ枚数による特徴 e マルチコプターの飛行原理 f 運用事例と将来の展望 	4月～5月	8	
法律と ルール	<ul style="list-style-type: none"> a 法令 b 航空法 第一章 総則 c 航空法による無人航空機の定義 d 無人航空機を飛行させる際の飛行ルール e 改正航空法 f 飛行方法の特例(捜索・救助) g 小型無人機等飛行禁止法 h 電波法 i 道路交通法 j 民法 k 個人情報保護法 l 外国為替及び外国貿易法 m 産廃法 n 過失往来危険 o 河川法 p 条例 	6月～7月	16	

学科	航空工学科	学年	1年
科目	マルチコプター実習 I	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
航空気象	a 大気 b 熱対流 c 海陸風(シーブリーズ) d 大気圧 e 地衝風 f 標準大気 g 雲形10種 h 気団 i 気圧配置 j 前線 k 積雲の発達 l 乱気流、タービュランス m 風のシア、ウインドシア n ウェーク・タービュランス o ドローンに影響の大きい乱気流 p 雷 q 空気密度と高度 r 気象情報の入手 s 航空気象通報式 t 航空気象定時観測気象報 u 気象判断のポイント	9月～10月	10	
安全運航管理	a 安全運航の重要性 b 安全な飛行場所の確保 c 安全を確保するために必要な体制 d 非常時の体制 e 運用限界指定書 f 飛行記録 g フライトプランの作成 h 飛行環境による注意点 i 飛行中の危険回避 j 自動飛行 k 事故の責任と保険 l 輸送時の注意点 m 点検	11月	6	

学科	航空工学科	学年	1年
科目	マルチコプター実習 I	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
構造	a 構造 b リポバッテリー c 電波	12月～1月	10	
飛行許可申請	a 飛行許可・承認の申請を必要とする飛行 b 飛行許可申請手順 c 無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領 d 実際に提出した飛行許可・承認申請書 e 申請書類が整ったら f 申請書の確認および提出先	2月～3月	10	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1 / 2 ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	坂本 正之 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	ドローン設計演習	授業 方法	講義・ <u>演習</u> ・実習	教育時間	60
教科書	-				
参考書					

教 育 の 内 容				
授業概要	UAVのフレーム、ボディ、機装品などハードウェア設計の基礎を習得する。			
実務経験	-			
授業の進め方	UAVの制作、および機装品の取り付け、FUSION360による設計と3D印刷を行う。			
到達目標	FUSION360の習熟と、CATIAとの差異の把握 実機UAVに直接実装可能な機装品の設計 3Dプリンタにおける積層方式の違いを把握し取り扱いを習熟する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	機装品の設計と実装	30		
2	UAV本体の設計とフライト	30		

学科	航空工学科	学年	4年
科目	ドローン設計演習	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
艀装品の設計と実装	<ul style="list-style-type: none"> a FUSION360 b スライサーの取り扱い c 3Dプリンタの取り扱い d 艀装品の選定と設計 e 実装と修正 f 運用考察 	4月～9月	30	
UAV本体の設計とフライト	<ul style="list-style-type: none"> a 無人航空機の構造 b フライトコントローラによる制御 c 構成部品の選定 d 想定する運用方法 e 機体設計 f 強度計算 g 耐候性試験 h 組み立てと修正 i 航空法 j UAV関連法案 k 室内飛行 l 屋外飛行 m 飛行許可承認申請 n 改正航空法と航空業界の未来 o 空飛ぶクルマ p 考察 	10月～3月	30	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	佐伯 達夫 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	プログラミングⅣ	授業 方法	講義) 演習・実習	教育時間	90
教科書	その他パワーポイント等自作資料				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	Scratch言語を用いたプログラミングを実施することにより、プログラムの基本を確実にする。arduinoを使用したロボットカーのプログラミングにより、コンピュータを用いた制御技術の基本を習得する。			
実務経験	C言語プログラミングを用いたシステム開発の実務経験を活かして授業を行っている。			
授業の進め方	プログラムによる制御技術を例題により学習し、この知識をベースとして各自で課題を設定して制御プログラムの開発を実施する。			
到達目標	1. Scratch言語の基本的なプログラミング手法を習得する。 2. コンピュータプログラムによる機械装置の制御技術を習得する。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	60%	—	40%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	Scratchプログラミング	15		
2	要素プログラミング	30		
3	ロボット制御プログラミング	60		

学科	航空工学科	学年	4年
科目	プログラミングIV	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
S c r a t c h プ ロ グ ラ ミ ン グ	a プログラミング言語 Scratchの概要 b Scratchのインストール c ”イベント” d ”動き” e ”音” f ”制御” g ”調べる” h ”変数”と”演算” i 自主課題プログラムの作成	4月～5月	15	
要 素 プ ロ グ ラ ミ ン グ	a ロボットカーの概要 b ハードウェアとピン定義 c サーボ制御プログラミング d 超音波センサー入力プログラミング e ライトラックセンサー入力プログラミング f モーター制御プログラミング g 赤外線コントローラ通信プログラミング h Bluetooth通信プログラミング	6月～9月	30	
ロ ボ ッ ト 制 御	a ライトラッキングプログラミング b 超音波センサーを用いた衝突回避プログラミング c 赤外線コントローラによる遠隔操作プログラミング d Bluetoothを介した、スマホによる遠隔操作プログラミング	10月～3月	45	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	松尾 史朗 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	モノづくりと技術者	授業 方法	講義 (<u>演習</u>) 実習	教育時間	30
教科書	「はじめての技術者倫理」 講談社 北原 義典				
参考書	「エンジニアの成長戦略」 匠習作 日本実業出版社 「空飛ぶタイヤ」 池井戸 潤 「技術屋の王国」 片山 修 東洋経済新報社				

教 育 の 内 容

授業概要	前期では、エンジニア先輩の生き方を学び、日本社会今後50年の変化を元に、各自の技術者成長計画を作成する。 後期では、メーカー不祥事事例を学び、技術者が会社と社会への責任を持つ意味を考え、各自の技術者倫理を作成する。 日本技術者教育認定機構JABEE要件を参考とする。				
実務経験	クルマメーカー勤務40年間のエンジニア経験を生かして授業を行う。				
授業の進め方	教員の講義を中心とし、毎講義のレポート提出、Myキャリアプラン、My技術者倫理の作成を行う。				
到達目標	1. 技術者として働く目的を考え、キャリア成長計画を考える 2. 技術者として職を得て、働く正しい倫理観を養う				
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点	
	40%	40%	20%	100%	

授 業 計 画

(1単位時間=50分)

No.	教 育 項 目	時 間	備 考
1	技術者に求められる社会人基礎力	6	
2	変化する日本の社会と、会社組織・技術者個人の成長	6	
3	Myキャリア50プランを作成	3	
4	メーカー経営と、社会環境・社会責任の事例	6	
5	技術者の社会的責任を考える	6	
6	My技術者倫理綱領を作成	3	

学科	航空工学科	学年	4年
科目	モノづくりと技術者	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
基礎力 求める技術者の 社会人になる	a 石垣職人の志 b 経産省の社会人基礎力、コミュニケーション能力 c 先人に学ぶ、本田宗一郎、糸川英夫、稲盛和夫	4月～5月	6	
個人・組織と変化 の技術者の社会 成長者組	a .人口構造の激変、生産年齢人口の減少 b グローバル化と異文化コミュニケーション c アージリスの組織論、成熟論、	6月～7月	6	
PM 作業 成果 を0%	a 新技術・新事業の事例調査、ホンダジェット、介護ロボ b 魔の川、死の谷、ダーウィンの海 c 夏休み課題、私のキャリア50プランの作成	7月～9月	3	
環境と の社会 事例	a 地球環境問題、資源エネルギーの将来 b 製造物責任PL、リコールの事例 c CSR、地域社会貢献の事例	9月～10月	6	
技術者の 責任	a 技術者が社会に迷惑をかけた事例 b ヒューマンエラーの事例 c 情報新社会、情報技術倫理、AI	11月～12月	6	
PM 綱領 を技術 者倫理 作成	a法律と倫理 b技術士倫理綱領、JABEE c 冬休み課題、私の技術者倫理の作成 d 総括	12月～1月	3	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	Clive (非常勤)	開講時期	4年 通年
科目名	英会話	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	30
教科書	Speakout 2nd Edition Pre-Intermediate Students' Book BBC Pearson				
参考書					

教 育 の 内 容				
授業概要	To enhance the speaking ability so that they may converse freely and efficiently with foreigners or colleagues in English.			
実務経験	Translation of books and medical thesis as well as interpretation in various situations.			
授業の進め方	Pair conversation as well as discussion and occasional public speaking			
到達目標	The object of this course is to train students to successfully communicate with foreigners in various situations. One of the purposes is for students to be able to pick up information and to provide explanation as well as solutions to problems in real situations which may occur at airports or on board airplanes.			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%	-	50%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	Speaking in pairs or groups	5		
2	Listening for information	5		
3	Composition structures	5		
4	Reading for information	5		
5	Group discussion and presentation	5		
6	Basics of Grammar	5		

学科	航空工学科	学年	4年
科目	英会話	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
S p e a k i n g	1. Elements of a Conversation 2. Native Phrases and Idioms 3. Talking in Pairs and Groups	April to February	5	
L i s t e n i n g	1. Dictation Practice 2. Listening for Data and Information 3. Summarizing the News	April to February	5	
W r i t i n g	1. Basic Sentence and Paragraph Structures 2. Explanation of Data and Graphs 3. Writing an Opinion Essay	April to February	5	
R e a d i n g	1. Reading for Information and Data 2. Summarizing Information 3. Looking at Graphs and Tables	April to February	5	
D i s c u s s i o n	1. Structures of Discussion 2. Problem Solving 3. Information Collection and Summarizing 4. Output of Data and Analysis 5. Debating a Controversial Topic	April to February	5	
G r a m m a r i c	1. Parts of Speech 2. Exercises	April to February	5	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	松尾 史朗 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	航空システム力学 II	授業 方法	講義 演習・実習	教育時間	30
教科書	「航空力学の基礎」 産業図書 牧野 光雄				
参考書	「超音速飛行」 加藤 寛一郎				

教 育 の 内 容				
授業概要	高速空気力学をベースに、遷音速・超音速飛行、推進理論を学ぶ。			
実務経験	大学・大学院での研究、(株)本田技術研究所での航空機研究開発経験を生かして授業を行う。			
授業の進め方	教員の板書を中心として、パワーポイント、動画、模型実演 による視覚的説明を行う。			
到達目標	1. 高速空気力学の基本知識を獲得する 2. 超音速機技術の基本知識を獲得する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	0%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	流体力学基礎、熱力学の復習	6		
2	圧縮性と高速空気力学	6		
3	衝撃波と遷音速・超音速飛行力学	6		
4	ジェットエンジンの空気力学	6		
5	ロケット推進力学	6		

学科	航空工学科	学年	4
科目	航空システム力学 II	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
流体力学の基礎、熱力学	a 粘性、圧縮性流体 b 気体状態方程式、エネルギー式 c 断熱変化、連続式	4月～5月	6	
圧縮性と高速空気力学	a 体積弾性率、圧縮率 b 音の伝播、音速、マッハ数 c 衝撃波 d ノズルフロー、ラバールノズル e 温度比、圧力比、密度比	6月～7月	6	
衝撃波と遷音速飛行	a 速度と主翼衝撃波の発生 b X-1と音速突破の飛行術 c 音速突破の機体設計技術、エンジン技術 d フラッター e 超音速旅客機の将来	8月～9月	6	
ジェットエンジンの空気力学	a 基本構造、原理 b コンプレッサー空気力学 c タービン空気力学 d 熱サイクル論 e 極超音速エンジン	10月～12月	6	
ロケット推進力学	a 宇宙ロケット開発の歴史、アポロ計画 b ロケット推進の理論 c 脱出速度 d 日本のロケット開発、ペンシルロケットから e 電気推進 と はやぶさ	12月～2月	6	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	加藤春雄 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	生産工学	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	30
教科書	生産管理入門(オーム社)				
参考書	—				

教 育 の 内 容

授業概要	生産を管理する目的、手法等の基本的なことを理解させ、生産の管理技術を学ぶ。			
実務経験	企業における日程、工数管理の実務経験を活かして生産工学の授業を行っている。			
授業の進め方	授業では、板書、ハンドアウト、課題等を中心に進める。			
到達目標	1.生産管理に関連するマネジメント技術の基本を学ぶ 2.効率的に物の生産ができる生産システムを習得する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%

授 業 計 画

(1単位時間=50分)

No.	教 育 項 目	時 間	備 考
1	生産管理	3	
2	生産組織	6	
3	生産の計画	3	
4	工程管理	6	
5	作業研究	4	
6	資材と運搬管理	5	
7	設備工具の管理	3	

学科	航空工学科	学年	4年
科目	生産工学	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
生産管理	a 生産 b 企業と工場 c 経営と管理 d 経営・管理の歴史 e 生産管理	4月	3	
生産組織	a 企業の組織 b 工場の管理組織	5月～6月	6	
生産の計画	a 企業の組織 b 工場の管理組織	7月	3	
工程管理	a 工程管理とは b 工程管理 c 作業の手配と統制 d パート	9月～10月	6	
作業研究	a 作業研究とは b 工程研究 c オートメーション d 動作研究 e 時間研究 f 研究結果の活用	11月	4	
資材と運搬管理	a 資材管理 b 購買管理 c 外注管理 d 運搬管理 e 倉庫管理	12月～1月	5	
設備工具の管理	a 設備管理 b 設備の保全 c 設備管理の資料 d 治工具管理	2月	3	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	高村、佐伯、高石、松尾(4名常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	卒業研究	授業方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	270
教科書	—				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空工学科4年間の学習の集大成と位置付け、研究企画、中間報告会、最終発表会、論文作成を行う。			
実務経験	—			
授業の進め方	学生が興味あるテーマを選定し主体として進め、教員は適宜、中間、最終の指導を行う。			
到達目標	1. 研究の手法、時間資源管理、発表会の緊張を経験する 2. 技術報告書、論文の書き方を学ぶ			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	—	80%	20%	100%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	研究テーマ選定、調査	48		
2	研究企画	36		
3	研究実行	72		
4	中間まとめ、報告	24		
5	研究継続	60		
6	研究まとめ	60		
7	論文作成、研究発表	60		

学科	航空工学科	学年	4年
科目	卒業研究	授業方法	実習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
マ研究 調査 選定 、1	a 研究テーマを決める、ゼミ担当教員指導 b テーマ選定の背景、目的を明確にする c 参考文献資料整理	4月～5月	48	
研究 企画	a 達成目標とスケジュールを設定する b 費用計画、材料調査 c 研究方法の検討	5月	36	
研究 実行	a 研究の実行 b 課題の発生、原因と対策 c 方針のブレ修正	6月～7月	72	
中 間 報 告 と ま と め	a 進捗のチェック b 中間報告書、報告会	7月～8月	24	
研究 継続	a 研究の継続、課題解決 b 到達見通し、修正	8月～12月	60	
ま と め 研 究	a 研究の成果とまとめ b ゼミ担当教員、学科長アドバイス	12月	60	
究 成 論 発 表 文 研 作	a 論文作成、提出 b 発表会	1月	60	

2021 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空工学科	担当	田辺 和文 (常勤)	開講時期	4年次 通年
科目名	体育Ⅳ	授業 方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	30
教科書	—				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	屋外スポーツ / 屋内スポーツ (リクリエーション)			
実務経験	—			
授業の進め方	学生の自主性を尊重し、グループごとに種目を選び実施する。			
到達目標	1.個々に合わせた体力の向上、スポーツ技術の向上 2.健康維持・増進、ストレス解消			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	—	80%	20%	100%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	屋外スポーツ	15	雨天時、晴天時 により配分時間 は変わる	
2	屋内スポーツ	15		
3				
4				
5				
6				

学科	航空工学科	学年	4年
科目	体育IV	授業方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
屋外スポーツ	a サッカー b 野球 c ランニング d 簡易ラグビー e 他、リクリエーション	4月～10月	15	
屋内スポーツ	a バレーボール b バスケットボール c 室内サッカー d バドミントン e ドッジボール f 他、リクリエーション	11月～2月	15	